

斑点米カメムシの地域一斉防除 で効果を高めましょう。

防除時の天候も確認し、個人防除の方は、早め防除に努めましょう。

令和8年度カメムシ薬剤防除対策

1. 対象害虫 アカスジカスミカメ他
2. 実施方法 水田『全面散布』を必ず実施しましょう。
3. 防除適期予測【目安】

品 種	ヒメノモチ		銀河のしずく ひとめぼれ	
	1回目	2回目	1回目	2回目
回数				
防除 適期	7/25 ～8/7	8/1～14	8/1～14	8/8～21
薬 剤	トレボン	スタークル		トレボン



写真：【幼虫・成虫】

※注 特別栽培ひとめぼれは1回防除になります。

品種・圃場によって出穂にバラツキがあります。必ず圃場を確認し早めに散布しましょう。
※飼料用米を作付している方は、隣接する主食米等にドリフト（飛散）しないよう防除の際には気を付けましょう。

- ・ 重点管理時期：1回目：出穂期 50%（7月下旬～8月上旬）

※品種によって違います。

2回目：1回目散布の7日後

4. 防除薬剤

◎食農立国米 銀河のしずく・ひとめぼれ **（2回防除）**・・10a 当り

〈1回目使用薬剤・使用量〉

スタークル粉剤DL・・・3kg
又は、スタークル顆粒水溶剤・30～75g
(2000倍) (水60～150ℓ)

〈2回目使用薬剤・使用量〉

トレボン粉剤DL・・・3kg
又は、トレボン乳剤・50ml
(2000倍) (水100ℓ)

★もち米品種 **（2回防除）**・・10a 当り

〈1回目使用薬剤・使用量〉

トレボン粉剤DL・・・3kg
又は、トレボン乳剤・50ml
(2000倍) (水100ℓ)

〈2回目使用薬剤・使用量〉

スタークル粉剤DL・・・3kg
又は、スタークル顆粒水溶剤・30～75g
(2000倍) (水60～150ℓ)

※粒剤は、住宅地近隣圃場や危被害が心配される圃場のみ、1回使用する

スタークル1kg H粒剤 1kg（散布は1回のみ・出穂始めに散布）
（灌水3cm程度で4～5日間止め水する）

飛散防止に気を付け散布しましょう。

斑点米カメムシの発生源となる本田雑草（ヒエ・シズイ・ホタルイ）が水田内に多く見受けられる圃場や昨年斑点米カメムシ被害が多発した圃場及び転作田・畦畔は、薬剤防除を徹底しましょう。※地区一斉防除を行う事で効果が高まります。

★転作田・休耕田等への散布（草刈りできない圃場等について）

本田の1回目散布時にトレボン粉剤DLを10aあたり3kg散布します。

※カメムシ防除は、防除期間内に、使用量をしっかり守って、地域一斉防除に努めましょう。

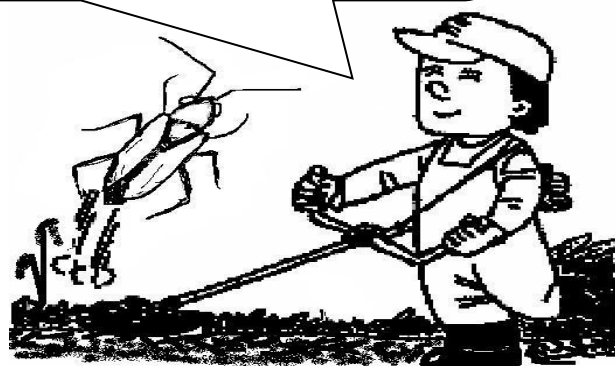
毎年矢巾地域では、カメムシの掬い取り調査を実施しており、その結果全域でカメムシが確認されております。今年度もカメムシの多発が予想されます。

一斉防除の効果を向上させるためにも草刈りを実施しましょう！！

皆さんでやろうカメムシの徹底防除
水田の畦畔、空き地、休耕田などを重点に
草刈りをしましょう。



アカスジカスミカメ 成虫・幼虫



◎斑点米の原因となる主なカメムシ

JA いわて中央一斉草刈(薬剤防除前に実施しましょう)
草刈りDay 7月15日～26日